

私たちは、良質で安全で心温まる医療を提供し、地域の皆様に信頼される病院づくりに努めます。



光市立光総合病院

第48号

2016年 9月 発行

病院だより

基本方針

1. 患者さん中心の満足度の高い医療
2. 医療水準の向上
3. 地域医療の確保と地域医療連携の充実
4. 救急医療、災害医療の充実
5. 安定した経営基盤の確立

光市立光総合病院の職員は、
患者さんの権利を尊重いたします。

1. 患者さんの人権を守り権利を尊重します
2. 知る権利を保障します
3. 診療の選択を保障します
4. 診療に患者さんの参加を期待しております
5. 患者さんのプライバシーを守ります

当院DMATチームが熊本県で活動を行いました

DMATとは、災害直後（発災後48時間以内）に迅速に展開し、応急治療・搬送などの災害時医療をはじめ、被災地内の病院支援などの活動を行える専門的な訓練を受けた、医師・看護師・業務調整員で構成される災害医療チームのことです。今年4月に発生した熊本地震では、当院から5名のDMAT隊員が派遣されました。

4月16日午前1時25分の発災後、山口県からDMATの派遣要請がありましたので、資機材・薬剤等の準備をし、発災から約6時間後の午前7時40分に光市立光総合病院を出発し、DMATの参集拠点である熊本赤十字病院に向かいました。熊本赤十字病院には、既に多くのDMATが到着しており、本部からの指示で、この日は活動せず、待機となりました。

17日は、東病院の病院支援を行いました。内容は、翌日患者搬送を行う23名の患者搬送カルテの作成・整理でした。医師は患者搬送カルテ作成、看護師は医師の支援及び患者の血圧測定を行いました。

18日は、宇城市内の避難所の現状調査を行いました。当院DMATは4箇所の避難所の調査を指示され、避難者数の確認・食糧等の充足確認・衛生状態の確認及び指導等を行いました。現地での活動を終え、発災から3日後の4月19日午前1時に光市立光総合病院に戻ってきました。

今回は、当院DMATにとって初めての出勤であり、反省する点も多くありました。今回の経験を活かし、いつ発生するか分からない災害に備え、今後も訓練を怠らないようにしたいと思います。

一日も早い熊本の復興を心よりお祈り申し上げます。



避難所調査の様子



出勤したDMATメンバー

災害支援ナースとして熊本県で活動を行いました

災害支援ナースとは、被災者が健康レベルを維持できるように、また被災した看護職の心身の負担を軽減し支えるために、被災地で適切な医療・看護を提供する役割を担う看護職のことです。このたびの熊本地震に際し、日本看護協会からの派遣要請で災害支援ナースとして光市立光総合病院より4名が3か所の避難所で、1人3泊4日の活動をしてきました。



私たち4人にとっては災害支援ナースとして初めての派遣であり、派遣要請を受けて現地に着くまでは、避難所の状況がどうなっているのか、被災者の方に私たちの活動を受け入れてもらえるのか、また、被災地で自分達の役割を果たすことができるのかなどの緊張と不安でいっぱいでした。しかし、被災者の方から

「待っていましたよ。」と温かい言葉をいただき、気持ちは和らぎました。

発災から1カ月が経過し、被災者の方が少しでも安心して避難生活を送れるように、血圧測定や歩行介助、食事摂取援助などの支援活動をしました。被災者の方は自宅の倒壊、再度起こりうる地震への恐怖、経済的問題などの不安を抱えています。私たちは、被災者の方が明日に望みを繋げられるように、また、この状況を乗り越えていってもらえるように心に寄り添い、言葉に耳を傾けてきました。

活動終了時、避難者の方から「ありがとう、さみしくなるね。私たちも頑張るからあなたたちも頑張るってね。」と言われ、今回の活動が避難者の方の役に立てたのではないかと感じ、災害支援ナースの役割は非常に重要だと改めて感じました。

災害は、いつ・どこで起こるか分かりません。私たちは今回の経験を活かし、いざという時、役に立てられるように、今後も災害に対しての知識や技術を深めていきたいと思えます。一日も早い熊本の復興を心よりお祈り申し上げます。



南阿蘇の様子



活動を行った避難所

看護の日イベントを開催しました

毎年5月12日（フローレンス・ナイチンゲールの誕生日）は、看護の日です。12日を含む週の日曜日から土曜日までが「看護週間」として、全国各地でイベントが行われています。当院でも5月11日（水）に病院全体の行事として各部門が協力をして「看護の日」のイベントを盛り上げました。

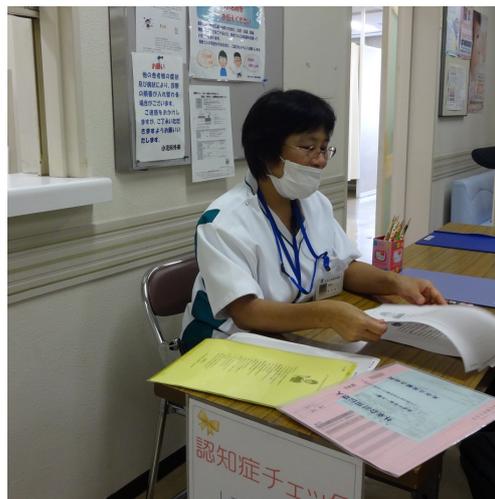
看護師による健康相談、血圧測定、体脂肪測定、身体計測、血管年齢測定、骨健康度測定器を使用した骨の健康状態チェックには、約40名の参加がありました。特に血管年齢測定、骨の健康状態チェックについては参加者が多く、行列が出来るほどでした。他にも各種専門家による相談コーナーや理学療法士による「ロコモ体操」、感染管理認定看護師による「正しい手の洗い方」のアドバイスをを行いました。

又、今年は、認知症チェックのブースも設置し、約30名の参加がありました。参加者からは、「話を聞いてもらえて、来てよかった」、「予防法を教えてもらえて良かった」等のお言葉を頂きました。

来年も参加者に喜んで頂けるようなイベントを開催致します。ぜひご参加下さい。



手洗い指導の様子



認知症チェックの様子



健康相談の様子





外来診療のご案内

平成28年9月



初診の受付は8:15から開始いたします。

再来機の受付時間は午前7:30～11:30、診察開始は特に表示のある科を除き8:30からとなっております。

診療科		月	火	水	木	金
内科	消化器	岩本	谷川	岩本	谷川	谷川
	内分泌	松田	松田	松田		松田
	循環器	福田	中村・福田 交替制	中村 福田	吉村	中村 福田
禁煙外来の受付は火曜日・木曜日、10:30まで						
外科	一診	折田	平田（健）	折田	平田（健）	折田
	二診	平田（健）	春木	春木	春木	春木
小児科			伊藤		堀田	
整形外科	一診	桑田	交替制（初診）	山縣	桑田	平田（健司）
	二診	平田（健司）		加藤	加藤	山縣
眼科		生田	生田	生田	生田	生田
泌尿器科		森	井本	交替制	井上	井本
麻酔科		竹中			竹中	
婦人科			前川		末岡	
診察開始9:00						
神経科				關		
耳鼻咽喉科		平田 （加寿子）				平田 （加寿子）
セカンドオピニオン外来			守田	完全予約制/毎月1・3週の火曜日 対象者はがん治療患者様およびご家族の方		
以下の診療科は午後からの診察で、再来機の受付時間は12:30～15:30、13:00診察開始となります。						
脳神経外科					岡	
予約制/毎月2・4週の木曜日					井本	
皮膚科			竹本	毎月1・3・5週の火曜日		

編集後記

先般行われたリオ五輪では、日本は過去最高となる41個のメダルを獲得しました。テレビ中継に釘付けになり、寝不足になられた方も多いと思います。

4年後の東京五輪では、野球・ソフトボールが競技に復活し、更に多くのメダルが期待できそうです。



光市立光総合病院

〒743-0022

山口県光市虹ヶ浜二丁目10-1

TEL 0833-72-1000（代）

FAX 0833-72-6018（代）

71-2828

（医事係専用）

光市立光総合病院ホームページ

<http://hikari-hosp.jp/>